

VI 施設利用等の提供

(363,003 千円)

産業会館管理運営事業

(自 201,981 千円)

【事業目的】

現状課題	○県立広島産業会館は、東展示館・本館と西展示館で構成され、県内企業を中心として工業製品や特産品、新製品の展示等に会場を提供し、販路拡大等を通じて本県産業の振興を図ることを目的として事業に取り組んでいる。こうした中で、東展示館・本館においては築 50 年、西展示館においては築 30 年を経過していることから、老朽化した施設を適正に維持するとともに、バリアフリーへの対応など、利用者のニーズにマッチした機能を整備する必要がある。また、景気の後退期に新型コロナウイルスの流行が重なり、出展企業の展示会やイベントの開催中止、イベントからの撤退等により、大きく収入が落ち込んでおり、令和 3 年度はほぼ収支均衡まで持ち直したものの、依然として先行き不透明な状況が続く見込みである。このため、収支改善に向けた取り組みを一層強化していく必要がある。
目的	○全ての利用者、主催者に対して平等で安全・安心、快適な利用環境の提供を基本に、収入の確保に向けた取り組みや徹底した経費の削減によって当館の管理運営に組み込み、利用者の満足度の向上と収支の改善との両立を図る。

【事業概要】

	概要
適切な施設の整備及び管理・運営	○収入の状況を見極めつつ、老朽化した施設の機能維持・修繕やバリアフリー化など、利用者から要望の多い設備の更新・整備を行うことにより、利用者の満足度の向上を図る
収益確保に向けた取り組み	○顧客への訪問営業や休眠しているリピーターの掘り起こし、閑散期や稼働率の低い会場の利用促進策の検討など、今後の収支改善に向けた取り組みを強化する
徹底的な経費削減	○関係団体への慣例的な負担金等を休廃止するとともに、緊急的な修繕を除く先送り可能な修繕、備品・消耗品の洗い出等しにより、不要不急の支出を抑制する
県内製品や県内企業等の情報発信	○広島 BOX において、工業製品、酒・食品関連、健康・美容、伝統工芸品など、広島之宝である県内企業等の製品をカテゴリー別に展示し、広島産業会館の来場者に紹介するとともに、出展企業と地域の小学生との交流事業を行う。 ○メッセひろしまギャラリーにおいて、広島で活躍するクリエイターや企業、プランナーのコラボレーションや新たなチャレンジの成功事例を紹介するとともに、広島県の観光・イベント情報や、産業支援等の様々な情報を提供する
顧客情報の収集・分析	○広島産業会館を利用した県内外の主催者や来場者を対象にアンケート調査を行い、来場者の属性、主催者の満足度やニーズを把握した上で、顧客情報を収集・分析することにより、新たなイベント誘致や顧客開拓に繋げる
顧客の定着促進	○広島市及びその近郊を放送エリアとするコミュニティ FM 放送局で、月に一度、数分間の放送枠を確保し、翌月の広島産業会館のイベントを PR することにより、顧客の定着促進を図る

【年間目標】

	目標
利用料等収入額	201.981 千円
面積稼働率	28%